

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立弘前第一養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	船中交流Ⅰ及びⅡ		
	単元(題材)の目標	船中生を知ろう（Ⅰ）、船中生と仲良くなろう（Ⅱ）		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1・2 年 27 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	中学部1・2年生27名（普通学級、重複学級）と船沢中学校全校生徒47名の計74名による交流及び共同である。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	ノートパソコン、プロジェクター、ビデオカメラ、音響設備		
	使用したアプリケーションの名称	ZOOM		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
I C T 活用のねらい	コロナ渦において直接交流に制限があるため、ZOOMアプリを活用し、リモートによる交流及び共同学習を行う。地域にある中学校との交流を通して、親睦を深めたり相互理解を促進したりする機会とする。			
活用の状況と支援	活用の状況と支援	船中交流Ⅰでは、カメラ越しにお互い自己紹介をし、相互理解を図る活動を行った。交流後は感想文などを送り、二回目の交流学習への期待感を持つことができた。 船中交流Ⅱでは、各校生徒代表挨拶を行ったのち、船中ねぶたの囃子に合わせてペットボトルを打ち鳴らして共同運行を行った。各校班になり、フリスビー大会やクイズ大会を行い、点数を競い合ったり、ダンス「翔ける未来へ」を一緒に踊ったりした。船沢中学校生徒による司会のもと、一緒に活動することができた。ZOOMを活用したリモートでの交流であったが、生徒は「楽しかった」「今度は会って一緒に楽しみたい」と感想を述べていた。		